

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 稲敷市立君賀小学校 担当教諭名 相澤 愛

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成23年2月1日(火) 9:30 ~ 11:30
対象学年と人数	1～6年生 64名
派遣講師名と出身国	カバ メレキ (トルコ) チョウ ヨウ (中国) オン グアン イ (マレーシア) 庄司 京子 (コーディネーター)
活動の内容	全体会 9:30～9:40 (全校児童) ・講師紹介 交流会 9:45～11:30 (1～4年生) (5・6年生) ・お国の紹介 ・水餃子作り ・遊び・ゲーム体験 ・試食 ・児童による合唱 ・児童による合唱
生徒・保護者等参加者の感想	・水餃子は焼いた餃子よりも脂っこくなくて美味しかった。 ・ラー油を使って餃子のたれを作っていたけど、思ったより辛くなかった。 ・トルコには「ファイヤーボール」という遊びがあって、日本のドッジボールと同じ遊びだったのでびっくりした。ドッジボールはどこでも人気があるんだと思った。 ・マレーシアには歩いていくと1ヶ月半もかかることが分かって、遠い国なんだなあと考えた。 ・どこの国にも日本のジャンケンのような物があって便利だと思った。
先生の感想	・どの講師の方も明るくて、日本語がとても上手だった。パワーポイントや写真を使っていろいろなことを紹介してくれた。 ・今回初めて3つの学年に分けたので、調理のグループを除いては時間にも余裕があり、落ち着いて話を聞いたり質問したりできた。調理はやはり3時間とった方がよかった。 ・国の紹介にもクイズを入れたり、賞品を用意してくれたりして、子どもたちもとても喜んでいました。

